



我孫子市LINE公式アカウント友だち募集中！
二次元コードを読み取るか、LINEの「友だち追加」でID[@abiko_city]を検索して追加してください。市からのお知らせなど、欲しい情報を選べます。メール配信サービスと同じ情報も配信します。



アプリ「マチイロ」
マチイロ(二次元コードからダウンロード可)で広報あひこが閲覧できます。



めるへん文庫



受賞作品決定

毎年、全国の小・中学生、高校生から夢あふれるオリジナルの童話・小説を募集しています。めるへん文庫は、市内に居住していた児童文学作家の故・古登正子さんが「いつか自分で童話賞を作ろう」と抱いた夢を実現させ、平成14年度に創設しました。

今回は127編の応募の中から、最優秀賞「古登正子賞」の他、19編の受賞作品を選出しました。令和6年度は小学6年生の教科書に「あなたは作家」という項目が加わり、1枚の写真や画像から想像を広げて物語を作る授業が行われました。その授業から生まれた作品も入賞しています。

☎ 教育委員会文化・スポーツ課 ☎04-7185-1601

受賞作品

古登正子賞『黒猫とピアノ』

久野晴香さん(中学1年、我孫子市)



ボクは独りぼっちな黒猫。ある嵐の日、雨宿りをした廃虚で1台のピアノと出会う。ピアノは置き去りにされて、まだ誰にも弾いてもらったことがないという。真っ黒同士のボクとピアノは友達になり、ボクは街でピアノを弾いてくれる男の人たちを見つける。話を聞いた彼らは、ピアノを生かすたびきりのアイデアを思いつくのだった。

(あらすじ紹介 図書館司書・三箇山由来)

審査員のコメント

○黒猫とピアノの友情が伝わり、心が震えました。情景描写や心情表現が巧みで、グイグイ読ませる力を持った作品です。
○しっかりとした構成で書かれており、読みやすい作品でした。温かい会話と夢のあるストーリーが、ずっと心の中に入ってきました。
○工房に残されたピアノと黒猫の遭遇が、ピアニストや調律師、街の人々も幸せに導く優しい物語です。
○心温まる友情物語です。脇役の描き方も非常に優れており、最後まで読者を引きつける完成度の高い作品です。

小学生の部

中学生の部

高校生の部

作品名	作者 (学年、市区町村)	作品名	作者 (学年、市区町村)	作品名	作者 (学年、市区町村)
1席 イルカの魚助け	西原由翔さん (4年、我孫子市)	1席	該当なし	1席 二人のヴァイオリン弾き	右川青さん (3年、神奈川県横浜市)
2席 フルーツ王国の大イベント!	遠藤詩織さん (5年、我孫子市)	2席	妖怪百科	2席 開ける心	浅野萌愛さん (3年、野田市)
3席 ジッシュと妖精	菅野花さん (4年、茨城県つくば市)	2席	妖怪百科	3席 Twilight promise	関根楓華さん (2年、鎌ヶ谷市)
3席 ねこの極秘会議	寺崎葉乃さん (5年、我孫子市)	3席	夢の中、その先へ	3席 雪霊	知久七海さん (2年、流山市)
3席 光への招待状	宮坂紬葵さん (5年、我孫子市)	3席	四季に逢う君に	3席 青い空を超えて	臺野莉瑚さん (2年、千葉市)
3席 鏡の世界	石井ひかりさん (6年、我孫子市)	3席	おじいちゃん、元素になる	3席 卒業式延期	山口佳奈さん (2年、長崎県大村市)
3席 永遠の雨	小熊煌心さん (6年、我孫子市)	3席	おじいちゃん、元素になる	3席 車窓	狩野遥香さん (3年、福岡県直方市)
3席 捨てられたうさぎ	松川いづみさん (6年、我孫子市)				

見る

受賞作品展

受賞作品を、黒澤颯子さん(元編集者・イラストレーター)が描いた受賞作品集の表紙絵・挿絵と共に展示します。
☎ 2月21日(金)～3月2日(日)9時～21時(最終日15時まで)
📍 アビスタ1階中央通路



読む

受賞作品集 販売

第7～21集を販売しています(第1～6集、第16集は完売)。※令和6年度分を収録した第22集は2月21日(金)販売開始
販売場所 文化・スポーツ課(水道局4階)、行政情報資料室(市役所本庁舎1階)
費 500円



聴く

朗読動画

古登正子賞と各部門1席の作品を市公式YouTubeで配信します。詳しくは市ホームページをご覧ください。
配信開始日時 3月2日(日)17時



▲市HP

書く

ワークショップ「めるへん学校」

6月に、児童文学作家を講師に迎え、物語を作る楽しさを体験する「めるへん学校」を開催します。詳しくは市ホームページをご覧ください。



▲市HP